

# 高室理事

令和3年4月26日

郡市医師会  
担当理事 殿

神奈川県医師会  
理事 田村哲郎

## 消防庁「救急業務のあり方に関する検討会」報告書について

時下ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

さて、標記の件について、日本医師会常任理事より別添のとおり通知がありました。

本件は、消防庁が主催する標記検討会について、消防庁のホームページに昨年度の活動報告書が掲載された旨、報告があったものです。

つきましては、貴会におかれましては、本件をご了知のうえ、関係機関への周知方につきご高配賜りますようお願い申し上げます。

なお、本報告書については、下記の消防庁ホームページよりダウンロードしていただきますよう併せてお願いいたします。

### 【消防庁ホームページ URL (報告書掲載頁)】

[https://www.fdma.go.jp/singi\\_kento/kento/post-57.html](https://www.fdma.go.jp/singi_kento/kento/post-57.html)

お問い合わせ先

地域医療課 担当：大堀

横浜市中区富士見町3-1

TEL:045(241)7000 FAX:045(241)1464

E-mail: y-ochori@kanagawa.med.or.jp



(地 31)

令和 3 年 4 月 1 3 日

都道府県医師会

担 当 理 事 殿

公益社団法人 日本医師会 常任理事

長 島 公 之

(公印省略)

消防庁「救急業務のあり方に関する検討会」報告書について

時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

さて今般、消防庁「救急業務のあり方に関する検討会」(小職が委員として参画)により、令和 2 年度の報告書が取りまとめられました。

高齢化の進展に加え、新型コロナウイルス感染症の世界的な流行や我が国での感染患者の増加、環境や生活様式の変化等を背景として、救急需要は多様化しており、これらの状況を踏まえ、いかにして救急業務を安定的かつ持続的に提供し救命率の向上を図るかが、救急業務に係る主要な課題となっております。

このような課題に対応するため、「①救急業務の円滑な実施と質の向上」、「②救急車の適正利用の推進等」等が目標として掲げられ検討が行われました。

①に関連しては「救急業務におけるメディカルコントロール体制のあり方」、「救急活動における ICT 技術導入」及び「蘇生ガイドライン改訂への対応」について、②に関連しては、「救急安心センター事業(#7119)の全国展開に向けた検討」について、このほか、新型コロナウイルス感染症への対応状況等を踏まえて「救急隊の感染防止対策」の検討や、平成 29 年度から行われている「救急業務に関するフォローアップ」の取組状況の報告が行われました。

つきましては、ご参考までに本報告書についてご案内いたしますので、下記の消防庁ホームページよりダウンロードの上、ご査収いただきますようお願い申し上げます。

【消防庁ホームページ】

[https://www.fdma.go.jp/singi\\_kento/kento/post-57.html](https://www.fdma.go.jp/singi_kento/kento/post-57.html)

